

整理番号	19-48	事務事業名	(障がいサービス事業) 融雪施設資金補助事業	作成部署	保健福祉部福祉課	電話	内線812	
事務区分	自治事務	法定受託事務	部長職名	上村 弘志	課長職名	小西 洋一	作成日	平成17年6月
事務事業開始年度	平成12年度	根拠法令等	北広島市融雪装置設置費補助要綱					
" 終了予定年度								
事務事業開始のきっかけ(導入当初の目的等)	身体的、体力的に除雪が困難な高齢者等世帯の冬期間の負担を軽減し生活の安定を図る。							

1 計画(プラン)

上位施策との関連(総合計画での位置付け)	章	安全で安心できるまち	(第1章)
	節	地域福祉	(第2節)
	施策	福祉環境の整備	(第3施策)
目的(ここから成果指標を導きます)	対象(誰、又は何を)	70歳以上の高齢者の世帯、重度の障がい者世帯	
	意図(何をねらっているのか、対象をどのような状態にしたいのか)	身体的、体力的に除雪が困難または大きな負担となる高齢者世帯等の方の降雪時の通路を確保する。	
手段(ここから活動指標を導きます)	市が行った(行う)事務事業の具体的な実施内容(団体補助等の場合はその補助金による団体の活動内容を記載)	16年度まで	ロードヒーティング設置費の3分の2を補助(限度額20万円)
		17年度	同上

2 実施(ドゥ)

【事業費の推移】

(単位:千円)

区 分		15年度(決算)	16年度(決算)	17年度(予算)	18年度(予定)
直接事業費	国支出金				
	道支出金				
	地方債				
	その他特財				
	一般財源	1,600	3,000	3,000	3,000
	合計	1,600	3,000	3,000	3,000
人件費(概算)	人数(年間)	0.01	0.01	0.01	0.01
	1人当り年間平均人件費	9,000	9,000	9,000	9,000
	= ×	90	90	90	90
総事業費 +		1,690	3,090	3,090	3,090

【事務事業を評価する指標(ものさし)】

指 標	指 標(算式)	指 標 値			
		15年度	16年度	17年度(目標)	18年度(目標)
活動指標 (事務事業の活動量や実績)	利用世帯数	8世帯	15世帯	15世帯	15世帯
成果指標 (目的の達成度を測るものさし)	利用世帯数(代替指標)	8世帯	15世帯	15世帯	15世帯
効率指標 (主要活動単位当たりコスト)	補助1件当たりコスト (総事業費 ÷ 利用世帯数)	211,250円	206,000円	206,000円	206,000円

3 評価(チェック)と改善(アクション)

事務事業を取り巻く社会環境の変化や今後の予測・他市町村の動向等	恵庭市 = 設置する費用の3分の2(限度額25万円) 千歳市 = 経費の20% (限度額20万円、無利子融資制度あり)
---------------------------------	--

【妥当性の評価と改善の方法等】

項目	判定	判定の説明や課題	改善の方法
行政関与の妥当性 【市が実施すべき事務事業ですか。市民・企業等での実施可能性はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	冬期間、高齢者等の負担軽減を図る目的から公益性が高い	
目的の妥当性 【社会経済情勢や市民ニーズの変化などから、設定した対象や意図は妥当ですか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	高齢者や障がい者の冬季における在宅生活を支援する事業として、目的は妥当である。	
手段の妥当性 【現在の手段は適切ですか。もっと効率的で有効な手法はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	無利子融資についての声もあることから除雪対策として市全体で考える必要がある。	
受益者負担の妥当性 【受益者負担の適正化の余地はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入) 該当しない		

【有効性と効率性の評価と改善の方法】

項目	判定	判定の説明や課題	改善の方法
有効性の評価 【意図した成果は上がっていますか】	十分成果が上がっている 概ね成果が上がっている あまり成果が上がっていない 成果が上がっていない	冬期間の負担と生活不安が軽減されている。	
効率性の評価 【手法は効率的ですか。コスト削減の方法はありませんか】	十分効率的 概ね効率的 やや非効率 かなり非効率	補助金の執行でありコスト削減の方策はない	

【事務事業担当部局内優先度】

部局で所管するすべての事務事業の中で、この事務事業の位置づけはどの程度ですか

A B C

4 総合判定と今後の方向性

【1次評価】	判定	今後の方向性や改善方法など
事務事業担当部局の総合判定 【上記3の評価と改善を踏まえ、今後の方向性についての総合判定と改善方法を記入】	拡大・重点化する 現状のまま継続する 見直しの上で継続する 統合する(検討含む) 縮小する(検討含む) 廃止・休止する(検討含む) 終了	降雪時の通路を確保し、冬期間の負担を軽減し生活の安定を図るために有効であり、今後も継続する。
【2次評価】	判定	今後の方向性等
行財政構造改革推進本部の総合判定	拡大・重点化する 現状のまま継続する 見直しの上で継続する 統合する(検討含む) 縮小する(検討含む) 廃止・休止する(検討含む) 終了	1次評価のとおり